

ぴっぷ



4区 上西彰一さん

INDEX

第78回通常総会開催	2～3	令和7年度 牧草委託作業参考基準料金	13
役員執行体制	4	令和7年度 転作作物受委託作業料金	14
令和7年度 3月農事懇談会要望・意見事項等	5～6	令和7年度 新規採用者紹介・人事異動	15
営農情報	7～11	JAびっふ町 機構図	16
JAびっふ町のできごと	12～13	理事会報告	17



比布町農業協同組合 第78回通常総会開催

3月28日に比布町農村環境改善センターにおいて、第78回通常総会が開催されました。

正組合員数283名のところ、205名（本人出席45名、書面議決書提出による出席160名）の出席をいただき、山口理事より開会宣言が行われ、大西代表理事組合長の挨拶後、来賓を代表して比布町長 村中一徳氏、ＪＡ共済連北海道旭川支所長 大矢樹礼氏より祝辞をいただきました。

議長団には、8区那須宏幸氏、17区合田正人氏が選出され、令和6年度事業報告、剰余金処分案や令和7年度事業計画の設定についてなど議案7件、報告事項2件の説明と監事より監査報告がされ、議長団の円滑な議事進行のもと、組合員皆様の慎重な審議をいただき提出議案全て承認されました。



組合長挨拶

第78回通常総会の開催にあたりご挨拶を申し上げます。

本日は春作業の準備に大変お忙しいところご列席いただき、併せて公務ご多用のおり村中町長を始め、来賓各位にご臨席を賜り開会できますことに衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、今年は穏やかな元日を迎え、1月・2月もやや暖かく、最近では育苗ハウスの準備も進んでまいりました。総会終了後からは温湯消毒が始まり種子の配送も予定しています。

昨年の営農は田植え時期の低温、また夏には強風や集中豪雨もありましたが、被害も少なく総じて好天に恵まれ、農作物の生育は順調に推移いたしました。特に基幹作物の水稻の作況は上川「104」となり、安定した収量を確保し「ゆめぴりか」の基準品率は60%を超えるなど、高品質と良食味米の生産においてはコメ卸から高い評価をいただいております。生産者の皆様の努力にあらためて敬意と感謝を申し上げます。

米価は想定外のコメ不足から「令和の米騒動」となり、価格は大きく高騰いたしました。肥料・農薬などの生産資材等の高騰により、厳しい経営状況が続いておりましたので、ようやく生産費を超える米価になったと思っており、努力が実った年でありました。

消費動向の調査では「米価上昇やむなし」と答えた人が46%、やや納得も含めると実に89%の人が理解を示してくれていて、ありがたいと思います。

昨年は四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法の改正が行われ、現状に即した基本理念の見直しと「食料安全保障の強化」「環境と調和の

とれた産業への転換」などが盛り込まれました。

政府は、初動の5年間で「農業構造転換、集中期間」と位置づけ、施策を集中的に実行することを、基本計画にまとめるようであります。当ＪＡとしても、ＪＡグループと共に、食料安全保障の強化と持続可能な農業経営の確立のために、農地の確保と適正利用の強化や、環境負荷軽減を取り組みながら、関係機関や組合員の皆様と共に知恵を出し合い、厳しい環境を乗り越えなければならないと思うところであります。

事業活動については、営農販売事業では水稻作付の5割を占める「ななつぼし」を筆頭に約1,500haを作付けし、ライスファクトリーの受入は約94,000俵余りで計画対比85.8%の集荷となりました。

また新たな取り組みとして、中干による温室ガスを削減するＪクレジットの取組や特別栽培米より更に農薬を減らした「高度クリーン栽培」などにも挑戦してまいりました。冬イチゴの「紅ほっぺ」は、ピンポン玉ほどに大きく収量もようやく安定してきたところであります。

秋の冷風に育てられた比布メロンは、美味しいと評判になって特別な注文がくるようになり、オクラも低調ながら販売高では1,300万円の実績を残し、販売高合計では21億3,000万円とし計画対比130.3%と大きく伸ばすことができました。

資材関係では物価高騰の恩恵や補助事業等により、農機具は計画対比147%を超える実績を上げるなど、計画を大きく上回りました。また貯金・共済・融資の信用事業は農畜産物の価格高騰を受けて期末残高はほぼ計画通りとなり、特にＪＡ共済は日常生活に係るリスクを守り、ひと・いえ・くるまの操業保障や相続税対策の

相談にも取り組みました。

事業全体では、経費節約に努め当期剰余金で3,600万円、繰越金を含めた当期末処分剰余金では5,600万円を計上することができました。一年間のご利用に役職員心から感謝申し上げます。

なお剰余金処分案につきましては、今年も出資配当に1.5%に当たる790万円、利用高配当には880万円を提案いたしますが、昨年9月に取り組みました3か年の出資造成計画中であり、全額を出資に充当くださいますようお願い申し上げます。

変わって令和7年度の事業計画であります。国内経済は昨年3月に日銀は毎年2%程度の物価上昇が続けば安定した経済成長が見込めるとして、17年振りにマイナス金利が解除されました。結果、期待通り預金金利や住宅ローンも金利は上がりました。

しかし、賃上げよりも物価上昇のペースが速く我々にとっては苦しい状況に変わりはなく、経済成長の好循環が生まれることを期待したいと思います。

さて農業・農村を取り巻く環境は、少子高齢化が進む中、昨年の古新聞で統計調査では2050年に子供を産む女性（20～39歳）が、もし半減すると消滅する町が道内では117市町村にもなると報道されました。

高齢化と人口減少が続く中、持続可能な農業経営がどれだけ維持できるか新たな農業基本計画も気になりますが、最近では政策の途中変更があり情報収集と共に関係機関との連携を図りながら、農業振興に努力したいと思います。

水活の水張問題は、転作田に5年に一度は水を張りましょうと決めて4年目の令和7年・8年は連作障害を回避する取り組みを条件に、水を張らなくても良いということになり、令和9年度からは転作田の概念がなくなり、水稻・麦・大豆など作物ごとの生産性向上を支援する仕組みに転換するようであり、農水にも直接聞きましたが、生産者の意見を聞きながら、今年中に方針を固めるということで内容は詳しくわからない状況であります。

さて、生産の目安では毎年10万トン減少で生産調整をしていましたが、今年はコメ不足の影響もあり全国的に水稻の作付面積が拡大するようです。本町の作付面積は、主食用米で45haほど面積が増加し加工米を含む全面積で1,500.7haとなり、集荷目標を11万俵としライスファクトリーで均一な品質づくりに努力し、早期契約に結び付けながら、有利販売をしてま



いります。

畑作では、麦・大豆の国産化が取り進められている中、転作麦の作付けも定着しつつあり、新たに留萌港が整備されることから麦の船舶輸送も期待されます。実需からは更に品質や生産の安定が望まれており、販売チャネルの拡充にも取り組みたいと思います。青果は前年度より実施している持続支援事業を活用いただきながら、作付面積の維持やJA集荷率の向上に繋がるように努力してまいります。

次にJA合併については既にご承知の通り、昨今の農業情勢やJA経営の取り巻く環境は、様々な課題に直面しております。経済の変化に対応して地域の農業振興や組合員の営農と生活の安定や、地域社会の発展に貢献していくためにも合併による組織基盤の強化が必要であるとして、合併協議に参加しております。ようやく昨年から合併の基本構想や概要について説明会を2回ほど開催させていただきました。

一昨年には、組合員の資格問題や出資金の平準化などにご理解をいただき、精緻化や出資金造成計画にも取り組みました。3月の農事懇談会でお話したように、合併の目標年度を令和9年2月1日に置き、これから更に組合員との懇談も多くなりますのでよろしくお願い申し上げます。

令和7年度の部門別、事業計画については後ほど説明いたしますが、JAグループ北海道と共に英知を結集し基本目標の達成に向けて、組合員から信頼される農協となるよう役職員一体となって事業推進してまいりますので、引き続き農協により一層の意思結集とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

結びに本日提案いたします、各議案につきましては全件ご承認賜りますようお願い申し上げ、開会にあたってのご挨拶と致します。

農協役員新執行体制

農協役員の任期満了に伴い、3月28日に開催された通常総会で新役員が選任され、4月4日に理事会を開催し今後3年間の執行体制が決定しましたのでお知らせ致します。

農業・農協を取り巻く情勢は一段と厳しさを増していますが、業務遂行に全力をつくし事業運営にあたりますので、組合員各位のご支援ご協力をお願い致します。



代表理事組合長
大西 勝 視



理 事
中 野 譲



理 事
北 川 雅 樹



理 事
片 澤 英 幸



理 事
松 岡 之 洋



理 事
藤 本 敏 之



理 事
鎌 田 貴 之



代表監事
森 真須美



監 事
山 崎 誠 一



監 事
大 川 智

役 員 退 任

この度、農協役員の任期満了に伴う改選にあたり、農協運営に全力を傾注されてこられました理事2名の方々がご勇退されましたので、お知らせ致します。



理 事
山 口 剛 志

在任期間：6期18年
(平成19年3月～令和7年3月)



理 事
浅 野 章 雄

在任期間：2期6年
(令和元年3月～令和7年3月)

在任中は、組合員各位には格別のご高配を賜り無事その職責を果たし得ましたことを心より厚くお礼申し上げます。今後、農家経済の安定並びに農協が益々のご発展されますようご祈念申し上げ退任の挨拶と致します。

令和7年度 3月農事懇談会 要望・意見事項等

令和7年3月5、6日にて、令和6年決算、令和7年計画及び新JA合併プランに関する概要説明の地区別農事懇談会を開催致しました。ご出席賜りました組合員の皆様にお礼申し上げます。皆様から頂きましたご意見、ご要望については今後の合併協議や農協運営に反映できるよう引き続き協議して参ります。



要 望 ・ 意 見

①4JAの足並みは揃っていて、令和9年2月の合併に間に合う予定なのか。

②合併は決定事項なのか。

③合併のメリット・デメリットは。

④合併後の役員推薦委員が比布で2名とは少ないのではないかと。推薦委員の負担が大きいと思われる。

⑤合併プランの理事と総代人数はどのような理由で決まったのか。

⑥現在、総合通帳とクミカンの両方利用可能だが、合併後はどちらかに統一されるのか。

⑦青果物の品目や米の集荷は合併したらどうなるのか。

回 答

各JAで合併の必要性を認識しており、そこに向けて取り組んでいく事としています。

令和8年総（代）会において各JAの合併決議によって決定となります。

購買品のスケールメリットが増すのでコスト削減につながると思います。

デメリットは融資業務などでは事務手続きの決定に時間を要する事があるかもしれません。

また賦課金が近隣JAと比べ比布は低い水準なので、収支計画によっては上乗せがあるかもしれません。

合併後の推薦委員10名のうち2名が比布地区という割当てであって、地区ごとの推薦委員は従来通りの人数でも問題はありません。

組合員戸数の割合で基準を設け設定しています。

口座に関しては、現状の利用方法を継続しつつ協議を行っていく予定です。

青果物は現状を維持しつつ、米の集荷は基本的にこれまで同様、利用して頂く方向で協議しています。

要 望 ・ 意 見

⑧合併後、事務所や資材はどのようになるのか。

⑨組合員組織の役職について、農業者が減少し、その負担が大きいので軽減策をお願いしたい。

⑩合併後、職員の地域間異動はあるのか。あまり変わらない様、配慮願いたい。

⑪新入職員の予定はどうなっているのか。退職者が出ない様に若い人材のフォローをお願いしたい。

回 答

協議中ではありますが、基本的に大きくは変わらないと思います。事務所や資材は支所として残る予定です。

農家戸数が減少している状況は理解しておりますので整理していきたいと思います。

基本的に大きく変わらないと思われます。

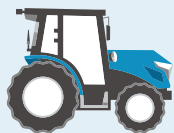
新卒が1名入る予定となっており、今後も中途での募集を行う予定です。退職者が出ない様、人材育成に努めてまいります。



『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』の 定価改定について

四誌の定価を2025年9月号より
右記のとおり改定いたします。
ご理解のほどよろしくお願いいたします。

誌 名	2025 年 8 月号まで		2025 年 9 月号より (毎号統一価格)
	定 価 (税込)		定 価 (税込)
家の光 くわにほん	普通月号	629円	900円
	特別月号	922円	
	12月特別号	1,027円	
地上 ちのへ	普通月号	618円	750円
	特別月号	680円	
ちゃぐりん ちやぐりん	普通月号	492円	600円
	特別月号	576円	
やさい畑	各 号	922円	1,100円 ※秋号より



育苗後半と本田準備、移植時の要点と注意点、 分けつ期の水管理

5月はヤケ症状などの高温障害が発生しやすくなります。また、水田の圃場準備や移植時の注意点について確認しましょう。

6月は移植後の水管理がとても重要な時期となります。適切な水管理について再確認し、初期生育促進、早期の茎数確保を図りましょう。

①育苗期後半の温度管理と水管理

●葉先の水滴を確認しましょう

- ・早朝、ポット苗の葉先に水滴が付くのは、根が床土にある水分を吸収している証拠です。1.5葉期までの過度の灌水は根巻が悪くなります。根巻が悪くなると軟弱な苗になってしまいますので、注意してください。

●夕方への灌水は厳禁

- ・夕方への灌水は日中に高めた地温を下げるだけでなく、ムレ苗や立枯病などの病害の原因となりますので、やめましょう。

●1.5葉期以降の水管理

徒長を防止しながら葉齢を進める、根の発育を促す。



そのために置床まで水分が行き渡るよう灌水し、その後、**置床の水分が乾くまで不要な灌水は控える。**
(少量ずつ頻繁な灌水は控える)



葉についた朝つゆで判断する。

1.5葉期～3.0葉期

晴天時は早朝より
肩・裾換気



18～20℃

10℃以下にしない

【適正な温度管理】

- 高温を避けて、徒長防止に努める。
- 早期異常出穂の要因になることがあるため、高温管理を避け、目標葉齢以内で移植する。

【根の発根を高める】

- 1～1.5葉ぐらいまでの間は灌水を控えめにし、根の発育をはかる。

3.0葉期～移植まで



10℃以下にしない

【徒長苗にさせない】

- 昼夜ともに肩・裾を大きく開放し、外気温に苗を馴らす。
- この時期は箱内を適湿に保ち、乾燥させない。

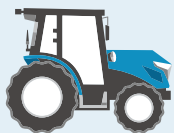
●育苗追肥基準

- ・中苗マット苗は基本的に1.0葉～1.5葉、2.0葉～2.5葉期に追肥を行いましょう。
- ・成苗ポットは基本的に追肥は不要です。ただし、育苗期間の後半に苗の老化が懸念される場合は追肥を行いましょう。
- ・「ゆめぴりか」は育苗段階での分けつが確保しづらい品種です。分けつ促進のために2.5葉期と移植前に追肥を実施しましょう。

■育苗追肥基準

育苗形式	追 肥 時 期			箱当たり施肥量
	1 回目	2 回目	移植前	
中苗マット	1 ～ 1.5 葉	2 ～ 2.5 葉	3 ～ 4 日前	窒素 1 g ・ 苗床液肥 : 5ml ・ NP57 : 7 g
成苗ポット	なし	なし	3 ～ 4 日前	窒素 0.5g ・ 苗床液肥 : 2.5ml ・ NP57 : 3.5 g
ゆめぴりか (成苗ポット)	なし	2.5 ～ 3 葉	3 ～ 4 日前	窒素 0.5g ・ 苗床液肥 : 2.5ml ・ NP57 : 3.5 g

※緩効性肥料を施用した場合は追肥は不要ですが、苗が徒長しやすいので注意しましょう。



◎移植前の育苗追肥である「弁当肥」はとても有効です。移植した苗は、苗が茎葉に蓄えた養分を使って発根し、水田に活着します。そのためには、苗に養分を吸収させてから移植する必要があるため、「弁当肥」は移植の3～4日前の晴天日の午前中に実施すると効果的です。

●若い苗で田植しよう！早期異常出穂の抑制対策

- ・「早期異常出穂」は、育苗期間中の高温管理により、親穂が正常な時期より早く出穂する現象です。
- ・近年は5月中・下旬が高温・多照で経過する傾向があり、**育苗日数が28日前後で移植可能な葉数に達している状況です。**
- ・「移植時の苗の徒長や老化苗」が気になる場合は、播種を遅らせる等、育苗計画の見直しをご検討ください。

■表1 成苗ポットにおける早期異常出穂抑制技術

移植時 苗形質	草 丈	10～13cm
	乾 物 重	3.0～4.5 g / 100本
	目標葉数	ななつぼし(異常出穂リスク:高) 3.6～4.0葉以内 ゆめぴりか(異常出穂リスク:中) 3.6～4.3葉以内 きらら397 (異常出穂リスク:低) 3.6～4.4葉以内
育苗管理の 留 意 点	育苗温度	簡易積算温度400℃以内
	管 理	2.5葉期以降は25℃以上としない
	育苗日数	中生品種は30～35日

- ・**2.5葉期以降は25℃以上にせず、目標葉数以内に移植しましょう。**
- ・成苗ポットは育苗箱が熱吸収しやすく、マット苗より床土が5℃以上高温になりやすいので注意しましょう。
- ・移植は初期生育の促進や出穂を早めるために**5月25日までに終了**するようにしましょう。

②乾土効果による減肥の検討

- ・耕起の際に圃場がよく乾いている場合は乾土効果が期待でき、初期生育の向上につながります。全層施肥からの減肥を考慮した肥料設計としましょう。ここ数年は雪どけが早く、土壌が乾燥していますので、乾土効果や有機物施用に対応した減肥を実施するなど、窒素施肥量について見直しましょう。

③初期生育を促す移植と水管理

●移 植

- ・初期茎数を確保するために植付深は**1.5～2.0cm**としましょう。深植えは発根や伸長が遅れ、分けつ発生も抑制されます。第1葉が埋没しないよう注意して下さい。
- ・低温時、強風時は移植しないようにしましょう。移植早限から5月25日迄が適期移植期間です。低温時の移植は避け、移植中でも状況に応じて作業を中止してください。

●水 管 理

- ・移植直後に入水し、移植直後と低温強風時は水深4～6cmで管理し、苗が落ち着いた2日目以降の晴天時は3cm程度の浅水管理で水温、地温の上昇を図り、活着を促進させましょう。また、入水は水田内水温と用水温の差が少ない夕方～早朝に実施し、日中における用水のかけ流しは水温の低下をもたらすので、止水して湛水状態を維持しましょう。

●さし苗（補植）について

- ・欠株は見た目として気になりますが、2～3%の欠株は、収量には影響を与えません。水稻には

■高品質米安定生産のための栽植密度及び1株当たりの植込本数

苗 別	m ² 当たり株数	1株苗本数
成苗ポット	22～25株(株間12～13cm以下)	2～4本
中苗ポット	25株以上(80株/坪以上)	2～4本

■比布の移植早限の目安(アメダス平均値)

育苗様式	移植早限温度	平年値 (過去10年の平均気温から)
成苗ポット	11.5℃	5月10日
中苗ポット	12.0℃	5月11日

※移植早限は、移植後5日間の平均気温が表の気温に達する日

補償作用があり、株間がかなり広くても補償作用で補ってくれます。従って欠株があったとしても、**長い連続欠株でない限りは補植の必要はありません。**

- ・ 欠株ではないが、1～2本しか植わっていない場合には、苗を継ぎ足す「さし苗」をしたくなりますが、健康な苗なら1本立ちであっても旺盛に分げつを行います。どうしても「さし苗」を行う場合は、「苗は少なめに植える」のが原則です。
- ・ 本田の置き苗は葉いもち病の発生源となりますので、田植えが終わったら速やかに適切に処分しましょう。

④水田除草剤は上手に使いましょう

- ・ 代掻きから移植まで日数が開くようであれば、初期剤を、後発雑草が多いようであれば中期剤を含めた体系防除を組み、雑草の密度を減らすよう対策を行いましょう。また、初中期一発除草剤を使用の際は、代掻きから移植までの日数を3～5日として使用時期を設定しています。日数が空いた場合は除草剤の散布適期を逃している危険性があります。適期を逃さないためにも早めに散布しましょう。

⑤早期茎数確保の水管理

- ・ 早期茎数確保のため、こまめな水管理を実施しましょう。深水測定板を利用し、ほ場の減水深を把握しましょう。

●日中は止め水で水温上昇

水田は、水温の上昇に伴って地温も上がります。日中は止め水をして水温上昇を図りましょう。また、入水は早朝もしくは夜間に実施し、不要なかけ流しはしないようにしましょう。

●移植直後の水管理と分げつを促進する深水

晴天が続く時は、平均水深2～3cmの浅水管理を行い、水温を高めるとともに、初期生育・分げつ促進を図りましょう。天気予報により、低温や強風が予想される場合（最高気温15℃以下）は、5～7cmの水深にしましょう。

⑥土壌還元（ワキ）対策と中干し

- ・ 透排水性不良田や稲わらがすき込まれた水田は、水温・地温が20℃を越えてくると、ワキが発生しやすくなります。ワキの発生は根を傷め、生育を停滞させます。
- ・ ワキの発生が激しい場合は、最低気温が14℃以上で好天が見込まれる時に中干しを実施し、根に酸素を供給させましょう。（5日間程度足跡が1cm程度付く状態を目安に行いましょう。）

ワキの程度	症 状	生育への影響	対 策
稀～少	水田に足を踏み入れても気泡の発生がない・わずかにある	なし	必要なし
中	水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水の入れ替え 暗渠水こうの解放
多	水田に足を踏み込むと盛んに気泡が発生する	根張り不良	一時落水 暗渠水こうの解放
甚	晴天時に自然に気泡が発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害 地上部の黄化	3～5日軽い亀裂が入る程度の中干し

- ・ 更に溝切りを併せて行うと効果的です。中干しは幼穂形成期までに終わらせましょう。

⑦幼穂形成期の見分け方

- ・ 「不稔」防止を目的に、深水管理の開始となる“幼穂形成期”を確認しましょう。
- ・ 茎の株元が丸みを帯び、株が開き気味になってきたら、平均的な株の主茎をカミソリなどで縦に切って確認します。幼穂の長さを数本測定し、平均で2mmに達した日が幼穂形成期です。

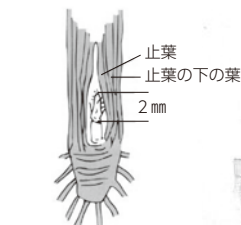


- ・ 幼穂形成期に達したら中干しは中止し、幼穂の伸長に合わせて徐々に深水にしましょう。圃場全体の7～8割が葉耳間長プラス5cm（冷害危険期終了）となるまでは、深水管理を続けましょう。

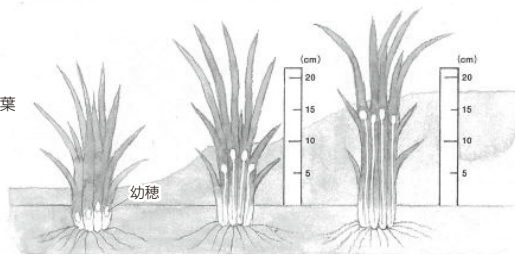
■ ななつぼしの作況調査数値

	幼穂形成期
平 年	6月26日
令和6年	6月25日

幼穂形成期の目安



幼穂長が2mmに達した日を幼穂形成期とする



幼穂形成期以前
水深3～4cm

前歴期間
水深10cm

冷害危険期
徐々に水深を深める

冷害危険期終了直前
水深18～20cm

⑧ ケイ酸資材の積極的な投入による稲体強化・病虫害予防・登熟促進

- ・ 健全な水稲は大量のケイ酸を蓄積します。ケイ酸は稲の健全な生育を確保し、高品質米を生産する上では必須の養分ですが、多くの圃場で土壌中可給態ケイ酸含有量（16mg/100g）が不足しています。ケイ酸が十分に吸収されることにより、葉が直立し受光面積の拡大、単位面積当たりの光合成能力の向上などの効果をもたらし、花粉の充実を良好にすることで不稔発生軽減にも有効です。
- ・ ケイ酸肥料を特に使用していなくても稲にケイ酸がしっかり含まれている場合もあります。上川農業試験場の調査によると、稲のケイ酸吸収量は、10a当たり110.5kgあり、その内約半分の56kgが稲わらすき込みを含む土壌からの吸収だったそうです。残りは灌水から13kgが吸収され、差し引き不足分の41kgは肥料として補う必要があるということでした。しかし、近年はダムや人工河川の整備による水質変化により、用水からのケイ酸供給量が低下しているといわれています。加えて、農協に提出された土壌診断の検体では、79%のほ場で可給態ケイ酸が著しく低いという診断結果になりました。高品質米生産のためには、ケイ酸を意識して施用し続けていく必要があると考えられます。
- ・ 流し込み施肥により省力化が期待できる液体のケイ酸資材もあります。詳しくは生産資材課までご相談ください。

ケイ酸追肥施用量(ケイ酸加里の場合)

時 期	幼穂形成期の1週間後頃
施 用 量	20kg/10a

⑨ 前歴期間

- ・ 幼穂形成期からおおむね10日間を前歴期間と呼び、この期間は花粉の数を決定づける大切な時期です。この時期に低温に遭うと、花粉が減少するなどの影響が生じます。
- ・ また、前歴期間の深水管理は耐冷素質の強化と穂揃い性の向上、過剰分げつ、遅発分げつを抑制し、有効茎歩合を高める効果もあるため、5～10cm程度の水深の維持に努めましょう。

深水管理の期間		前 歴 期 間		冷害危険期
幼穂形成期後の日数		0～5日後	6～10日後	11～20日後
目標水深	通常の場合	5→7cm	8→10cm	→20cm
	茎数不足の場合	3～4cmの浅水	→10cm	

苗の間違いに注意！



5月を迎え田植えが始まりますが、作業時に苗の間違いをしてしまうと、大きな米穀事故（コンタミ事故）へと繋がる可能性があるため、以下に十分注意の上、作業をお願い致します。

1 育苗ハウス内での、品種表示の徹底を!!

一つのハウス内で複数品種を育苗していて、その境目が分からなくコンタミに繋がった例があります。境目もしくはハウス毎に品種が分かるようにしましょう。

2 苗の譲り受けの際は、お互いに品種確認を!!

育苗を失敗し、他の生産者から苗を譲り受けたところ、譲渡者と受取者で品種誤認が発生した例があります。お互いに品種を十分確認しましょう。

※コンタミの事故は、対応に数百万、数千万の費用が掛かる場合もあります。十分ご注意ください!!

3 作業従事者にも共通目線で情報提供しましょう!!

作業従事者に品種がうまく伝わっておらず、間違った例もあります。作業される方同士で情報共有し、品種の共通認識を持ちましょう。

4 品種切替の際は十分に確認しましょう!!

移植作業で品種を替える際には、移植機を十分清掃し、付着した苗の除去を徹底しましょう。

5 さし苗(捕植)作業は原則行わないこととしましょう!!

やむを得ず実施する場合は、「苗の取り違い」に注意しましょう。

安全のために今一度確認しよう！

「見直そう！農業機械作業の安全対策」

5月に入り、農繁期を迎えました。4月から6月までは「春の農作業安全運動強調月間」です。農作業による死亡事故は年間約300件発生しています。

特に乗用型トラクターの転落・転倒による死亡事故(年間約90件)が多いため、安全対策の見直しが必要です。



- ☒ 機械・器具は必ず事前に点検整備を実施
- ☒ トラクター作業時は必ずヘルメットとシートベルトを着用する
- ☒ 作業機を付けての公道走行はランプ等に気を付ける
- ☒ 農道の走行・圃場の出入りの際は慎重に
- ☒ 機械の点検・修理は必ずエンジンを停止させてから
- ☒ スマホやタブレットを操作する時は必ず機械を停止する



3月
3日

水稻種子 温湯消毒作業開始

3月3日より水稻種子の袋詰め作業を開始し、3月30日から4月12日までの間、JAたいせつの施設で温湯消毒作業が実施されました。

消毒後には全ての品種についてロット毎に発芽試験を行いました。



発芽試験



種籾袋詰め作業



温湯消毒作業



温湯消毒作業

3月
25日

比布町畑作振興会 第19回定期総会開催

比布町畑作振興会では、3月25日に第19回定期総会を開催しました。

牧野会長より、「昨年は大雨の被害がありましたが、小麦、そばについては平年作、大豆についても例年を上回る結果でありました。令和7年度も各種事業の推進と共に、作業受託組織にご協力をいただき、畑作物振興を通して本町農業の更なる発展に繋がる様、歩んでいきたいと思います。」と挨拶。来賓として大西組合長より祝辞をいただき、議長に選出された今野勝貴さんの進行により議事が行われ、全ての議案について提案通り承認されました。尚、令和6年産小麦・大豆・そばにおいて、収量が高く優秀な成績を収められた会員に対し表彰が行われ、小麦・大豆では16区(旬定岡農園 定岡伸之さん(小麦578kg/10a、大豆348kg/10a)、そばでは13区 海老名敬久さん(121kg/10a)が最優秀賞として、牧野会長より表彰状と記念品が授与されました。





3月
25日

水稻播種作業

比布町内では、4月10日頃より水稻の播種作業が始まりました。今年は寒い中で播種作業が行われましたが、この後、5月に行われる田植えまで、ハウスの中で大切に温度管理され育てられます。



1区 菅原クリーンファーム



14区 牧野農産

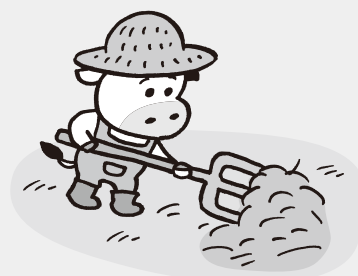


15区 佐藤良二さん

令和7年度 牧草委託作業参考基準料金

消費税込(税率10%) 単位：円/10a

作 業 名	料 金	備 考
サブソイラー	1,800	
耕 起	プラウ 2,000 ロータリー 2,700	
堆 肥 散 布	3,000	
追 肥	土改剤 900 肥 料 600	3袋まで
刈 り 取 り	3,000	
牧 草 反 転	600	3回
ロールベラー	3,900	
サイドレーキ	700	



※地形により割増料金が発生する場合があります。
※作業料金・牧草代等については双方協議の上決定。

令和7年度 転作作物受委託作業料金

燃料価格及び機械代や消耗品等の高騰により、料金が改定となりました

●転作作物別・作業別料金

消費税込(税率10%) 単価:円/10a

作 業 名	機械名	作物名	小 麦	大 豆	小 豆	そ ば
排 水 対 策	サ ブ ソ イ ラ ー		2,255	2,255	2,255	2,255
耕 起	プ ラ ウ		2,508	2,508	2,508	2,508
	ロ ー タ リ ー		3,388	3,388	3,388	3,388
土 改 材 散 布	ブロードキャスター		1,133	1,133	1,133	1,133
砕 土 ・ 整 地			4,389	4,389	4,389	4,389
播 種 手元助手・運送費込	プランター・ドリル		2,508	3,762	3,762	2,255
土 壌 処 理 水量100ℓ～150ℓ	ブ ー ム ス プ レ ー		1,914	1,914	1,914	1,914
除 草 剤 散 布			1,683	1,683	1,683	1,683
病 害 虫 防 除			1,793	1,793	1,793	1,793
培 土 ・ 追 肥	カ ル チ		—	1,892	—	—
株 間 除 草			—	1,386	1,386	—
刈 取 り	コ ン バ イ ン		9,383	9,383	9,383 自脱式 11,253	7,502
脱 穀			—	—	6,259	—
乾 燥 調 製 1 俵 当 り	乾 燥 機 ・ 粗 選 機 比重選・クリーナー		2,299	2,365	—	2,046
	乾 燥 機 ・ 粗 選 機 比重選を通していない場合		2,046	—	—	—

※上記作業料金表以外の作業については、委託、受託間で都度協議の上、別途決定する。

※上記作業料金は、転作田1枚の面積50a以上を基準にしています。面積による割引、割増は右記のとおりです。

※面積が50a以下の場合でも、下記の条件を満たした場合は基準料金となります。

①畦の両端2箇所5.5m以上取り除く。

②取り除いた部分が、耕起・砕土整地・播種・収穫が可能な状態。

③取り除いた部分が、極端な傾斜の場合は認められません。

※移動料は1回3,630円(税込)

■面積による割引・割増率(乾燥調製料除く)

転作田1枚の面積	割引・割増
(中に畦等がない)100a以上	1 割 引
50a以上100a未満	基 準 料 金
40a以上50a未満	1 割 増
30a以上40a未満	2 割 増
20a以上30a未満	3 割 増
20a未満	4 割 増

令和7年度 新規採用者紹介

①出身地 ②出身校 ③趣味／特技 ④好きな食べ物
⑤マイブーム ⑥自分の性格を一言で



久保田 将裕 (くぼた まさひろ)

- | | |
|--|--------------------------|
| ①東京都 豊島区 | ④ラーメン |
| ②東京農業大学
北海道オホーツクキャンパス
(自然資源経営学科) | ⑤作った事のない料理のレシピ
を調べること |
| ③ドライブ、温泉巡り | ⑥根気強い |

まだ仕事の流れもわからない状況ではありますが、早く仕事を覚えて役に立てるよう頑張ります！至らない点もありますが、これからよろしくお願い致します。

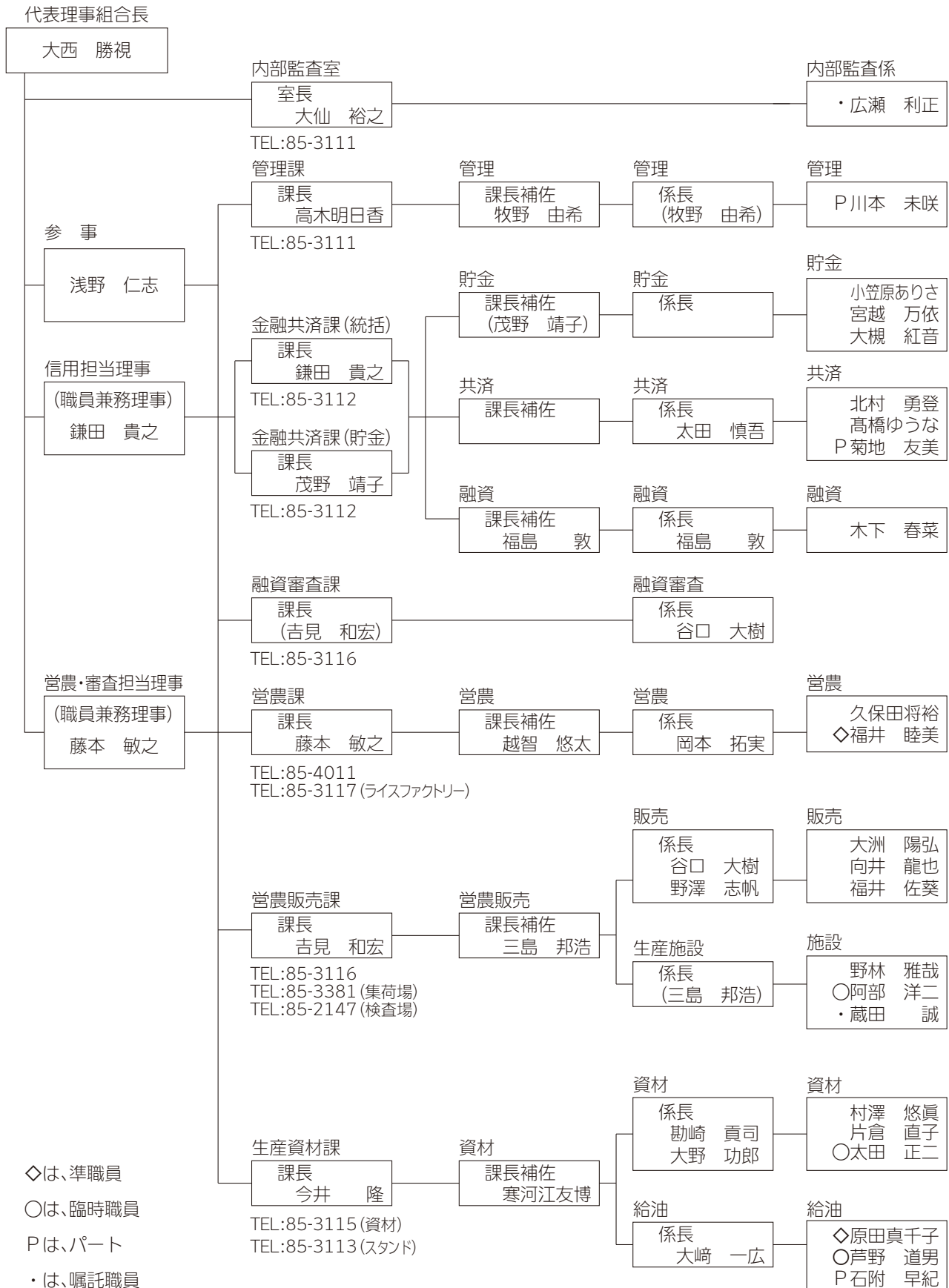
人 事 異 動

(R 7.4.1 付)

氏 名	新 任	前 任
茂 野 靖 子	金融共済課(貯金)課長 兼 貯金課長補佐	金融共済課 融資課長補佐
福 島 敦	金融共済課 融資課長補佐	金融共済課 共済課長補佐
三 島 邦 浩	営農販売課 課長補佐 兼 生産施設係長	営農販売課 課長補佐 兼 販売係長 兼 生産施設係長 兼 融資審査課 係長
太 田 慎 吾	金融共済課 共済係長	生産資材課 資材係
谷 口 大 樹	営農販売課 販売係長 兼 融資審査課 係長	営農販売課 販売係
野 澤 志 帆	営農販売課 販売係長	営農販売課 販売係
岡 本 拓 実	営農課 営農係長	営農課 営農係
福 井 佐 葵	営農販売課 販売係	金融共済課 融資係
木 下 春 菜	金融共済課 融資係	営農課 営農係
久保田 将 裕	営農課 営農係	新入職員

JAびっふ町 機構図

(令和7年4月1日 現在)



理事会報告

次の議案について協議し、承認されました

第2回理事会

令和7年3月4日

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ①令和6年度 決算監査報告 | ⑤信用の供与等の限度の設定について |
| ②第78回 通常総会提出議案及び決算関係書類について | ⑥給与表の変更について |
| ③総会招集通知及び議決権行使書面について | ⑦規程類の一部変更について |
| ④第78回 通常総会順序について | |

第3回理事会

令和7年4月4日

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ①理事会の議席指定について | ⑨畑作物に係る出荷契約について |
| ②役員体制について | ⑩貸出金の手形貸付について |
| ③定款第32条第5項の規定による理事の順位について | ⑪出資金の異動について |
| ④団体関係の役員選出について | ⑫行政庁への業務報告書の提出について |
| ⑤令和7年度 役員報酬支給について | |
| ⑥役員賠償責任保険契約の締結について | |
| ⑦退任役員に対する慰労金の支給について | |
| ⑧令和7年度 3月農事懇談会 意見・回答について | |



担い手に役立つ 営農技術や流通盛りだくさん

購読のお申し込みはJAへ
購読料 1ヵ月2,520円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<http://www.agrinews.co.jp>

協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

農繁期の
ための

時短料理

つゆだく豚丼

ごはんがすすむ！
甘辛ダレがしみた豚肉が絶品!!



豚肉にはビタミンB群が含まれており、疲労回復に効く食材です。アリシンを多く含む玉ねぎとあわせて取ることによってビタミンB1の吸収をより高めます。

【材 料】 2人分

- ごはん 300g
- 豚バラ肉 150g
- 玉ねぎ 中玉1/2
- 水 大さじ2
- しょうゆ 大さじ2
- 酒 大さじ1
- みりん 大さじ1
- 顆粒だし 小さじ1/2
- サラダ油 大さじ1

【作り方】

- ①玉ねぎを繊維に沿った薄切りにする。
- ②豚バラ肉は5cm幅に切る。
- ③鍋に油を敷き肉を炒める。
- ④肉に火が通ったら玉ねぎを入れ炒める。
- ⑤水、しょうゆ、酒、みりん、顆粒だしを入れて煮込む。
- ⑥肉に味が染みたら、どんぶりごはん盛りに盛り付けて出来上がり！

POINT

お好みでしょうゆを加減してください。
小ネギやししとうなどを添えるというとりもアップ!

葬儀・法要のご用命は…

24時間 365日対応

JAびっぷ町 生産資材課へ

■お問合せ先 JAびっぷ町 生産資材課

資材店舗 ☎85-3115

農協担当者携帯 080-5722-4171



突然のご不幸。即時対応致します。

葬送の儀すべて真心こめて
お手伝い致します。

～仏壇・墓石のご相談賜ります～

提携葬儀社：旭川公益社 TEL (0166) 52-1211

「if共済会」のご案内 基本葬儀料の10%が「弔慰金」として受け取れます。詳しくは上記までお問い合わせ下さい。

JAびっぷ町公式 SNS

JAびっぷ町では、公式SNSで、JAびっぷ町からのお知らせや、営農情報などを発信しています。広報誌では掲載できないカラー写真や動画なども配信していますので、忙しい時でも情報を受け取ることの出来る公式SNSを是非ご利用ください。



LINE公式アカウント

JAびっぷ町からの無線
放送の一部をお届け。



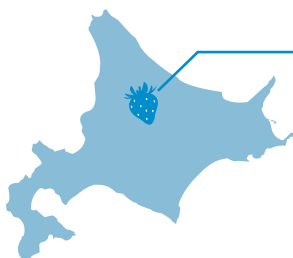
Facebook

JAびっぷ町からの営農
情報や、各課からの
お知らせなどをお届け。

編集後記

春の日差しが暖かく（暑いと感じる日もありますが…）なって来ました。農業機械に乗ることも増えてきます。農業機械に限らず、作業前や作業中には十分な休息・休憩を取って下さい。けがや事故などの無いように作業しましょう。

さて、前回のくみあいだよりを発行したあと、JA上川ビルで開催された「JA広報研修会」に行ってきた。伝わる文章の書き方や写真の撮り方を勉強して来ましたので、今後のJA広報活動に生かせるようにして行きますね！



JAびっぷ町 くみあいだより Vol.484

比布町農業協同組合

〒078-0342 北海道十勝郡比布町西町3丁目5番14号 TEL0166-85-3111

ホームページ <http://www.ja-pippu.or.jp/>

●発行／令和7年5月 ●発行者／大西 勝視 ●編集責任者／営農課